

西南女学院大学【成績の評価と卒業の基準】

●保健福祉学部、人文学部（西南女学院大学学則、西南女学院大学「履修規程」より抜粋）

（成績評価）

- ・成績は、100 点を満点とし、90 点以上を秀、80 点以上 90 点未満を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可とし、60 点未満を不可と評価する。
- ・教員の成績評価は、素点で行い、成績証明書等の成績評価は前項の記号をもって表記する。

（卒業の要件）

本学に 4 年以上在学し、別表第一に定めるところにより保健福祉学部看護学科においては 124 単位以上、福祉学科においては 124 単位以上、栄養学科においては 124 単位以上、人文学部英語学科においては 124 単位以上、観光文化学科においては 124 単位以上を修得しなければならない。

（卒業）

- ・本学に 4 年以上在学し、所定の授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。
- ・学長は、卒業を認定した者に対して卒業証書を授与する。

履修の手引き

■履修方法

本学は1年を前期と後期との2期に区分して授業を行い、原則として各期の終わりに履修している科目について期末試験等を実施します。

■卒業について

この期末試験等に合格すると、履修していた科目の単位が修得できます。このように、大学では単位制がとられています。

すなわち、必ず履修するように決められた科目（必修科目）の単位と選択科目の単位を4年間で一定単位数以上修得することによって卒業資格が得られます。

卒業に必要な単位については学則で次のように規定されています。

〈保健福祉学部〉

看護学科	総合人間科学	〈全学共通科目〉 〈学部共通科目〉	9単位以上 15単位以上	計24単位以上	合計124単位以上
	専門教育科目	必修科目 選択科目	94単位 6単位以上	計100単位以上	

福祉学科	総合人間科学	〈全学共通科目〉 〈学部共通科目〉	9単位以上 15単位以上	計24単位以上	合計124単位以上
	専門教育科目	必修科目 選択科目	44単位 56単位以上	計100単位以上	

栄養学科	総合人間科学	〈全学共通科目〉 〈学部共通科目〉	9単位以上 15単位以上	計24単位以上	合計124単位以上
	専門教育科目	必修科目 選択科目	57単位 43単位以上	計100単位以上	

■成績評価について

成績評価は、授業担当教員がシラバスに明記した評価の方法・基準に基づき評価を行います。

シラバスとは、授業科目の内容等を詳細に記述したもので、その授業で何をどのように学び、何ができるようになるかを知ることができます。

I. 評価方法について

●試験

前期又は後期の各期末に期間を定めて実施する筆記試験です。一定の制限時間内に、記述（択一式・選択式・計算・論述・作図など）の内容をもって、授業や自学自習で学習した知識を確認します。

●小テスト

授業期間中に小範囲、短時間に実施する小配点形の試験です。上記の「試験」に準じるもの、口頭試問などをもって、既習の知識・授業の内容などを確認します。

●レポート

調査や実験に基づく事実や考察、テーマに基づく自分の意見を論理的に文章で表現するものです。また、授業聴講レポート、ポートフォリオなどを提出することもあります。成果を確認するだけでなく、レポート作成のプロセスも評価の対象となることがあります。

●発表（口頭、プレゼンテーション）

口頭発表、プレゼンテーション、演技、実技試験、パフォーマンスなどで、成果を確認します。

●レポート外の提出物

記述や口述以外の表現手段で成果を確認します。

●その他

授業への積極的な参加を評価するものです。授業中の質問や教員の問いに対する回答、予習・復習、オフィスアワーでの質問など、学生の能動的な行動で確認します。授業中に不必要な発語・行動を行わないことも重要です。

II. 成績評価と評価基準について

成 績 評 価	評 価 基 準
秀（90点以上）	具体的な達成の目安の「理想的レベル」に達し、きわめて優秀な成果をおさめている。
優（90点未満、80点以上）	具体的な達成の目安の「理想的レベル」に達している。
良（80点未満、70点以上）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に達している。
可（70点未満、60点以上）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に最低限度達している。
不可（60点未満）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に達していない。

※具体的な達成の目安は、シラバスに記載されています。

■ GPA (Grade Point Average) 制度について

本学では、G P A (Grade Point Average)という学習成果の評価基準を設定します。

学則第28条に規定されている「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」による5段階の成績評価に加えて、G P Aを取り入れることにより以下のような効果が期待できます。

- 学習の成果を総合的に評価することが可能となります。
学生は学習の到達度を数値で具体的に知ることができるため、自己の学習の成果を評価する際の一層明確な基準となります。
- 学生自身の「学習意欲の高揚」や「自己責任」、「自己管理」能力を養うことにつながります。
学生は自己の到達目標を具体的数値で定めることができ、その数値を超えるための努力がしやすくなります。また、安易な履修登録による授業科目の途中放棄を防ぐことができます。
- 大学からのきめ細かな学修支援を可能にします。
大学はG P Aを厳格な成績評価基準として用いることで、学生一人ひとりの学習の状態に応じて、きめ細かな学修支援を行います。

G P Aの算出方法

100点満点で評価したときの得点を(P)として、下の計算式によりG Pを求め、少数第一位まで表示します。合格最低点である60点の場合はG P = 1.0、100点満点の場合はG P = 5.0、60点未満は不合格であるためG P = 0です。このようにして、履修した科目のそれぞれに対してG Pが計算されます。

成績 (P : 素点)	成績評価	G P
100～90	秀	5.0～4.0
89～80	優	3.9～3.0
79～70	良	2.9～2.0
69～60	可	1.9～1.0
60未満または放棄	不可	0

$$GP = \frac{(P - 50)}{10}$$

上記にて与えられたG Pを次の計算式で計算したものがG P Aとなります。

$$GPA = \frac{\text{履修登録科目のそれぞれの【G P} \times \text{単位】の総和}}{\text{履修登録単位数の総和}}$$

(少数第三位以下四捨五入)

【例】

	単位数	素点	GP
日本国憲法	2	89	3.9
こころと人間	2	93	4.3
生物と生命科学	2	82	3.2
経済学入門	2	75	2.5
初年次セミナー I	1	71	2.1
人生と哲学	2	66	1.6

$$GPA = \frac{3.9 \times 2 + 4.3 \times 2 + 3.2 \times 2 + 2.5 \times 2 + 2.1 \times 1 + 1.6 \times 2}{2 + 2 + 2 + 2 + 1 + 2} = 3.01$$

(参考：素点の平均点 79.3)

- G P Aの計算にあたっては「履修登録した単位数の総和」で除することに注意してください。学期のはじめに十分な学習計画のもとにどの科目を履修するかを決め、安易な履修登録をしないようにしてください。
- G P Aの計算の対象となる科目は、学則別表第一に定める科目とします。
※教職に関する科目及び日本語教員養成に関する科目(英語学科のみ)は対象になりません。
- 学則第26条に規定する他大学等において履修した科目及び学則第27条に規定する入学前の既修得単位等の認定により修得したものとみなされた科目並びに学則第33条に規定する外国の大学又は短期大学において修得した科目については、G P Aの計算から除外されます。
- 病気、事故等のやむを得ない事情により、学期途中で科目の履修が不可能になった場合は、所定の手続きにより大学の許可を得た場合に限り、当該科目は履修取消となり、G P Aの計算から除外されます。
※上記以外の理由(自己都合)により授業を途中で放棄した科目については、G P Aの計算の対象($G P = 0$)となります。
- G P Aが優秀な学生に対しては、成績優秀者として表彰する場合があります。
- G P Aには学期G P A、年度G P A、通算G P Aの3種類があります。
- 学期G P Aが2.0未満となった学生に対しては、履修に関する指導を行います。
- 学期G P Aが4期連続で0.5未満となった学生に対して、退学勧告を行う場合があります。

G P Aの提示方法

G P Aは、次のような方法で学生に開示します。

①通算G P A・学期G P A

入学時から現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分のG P Aは、UNIVERSAL PASSPORT内の個人成績表で開示します。

②学科・学年別のG P A

UNIVERSAL PASSPORT内の掲示で、各学科・学年別のG P Aを、度数分布で開示します。